

第324号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成29年の新年を迎えて 1~2
- “看護フェア”に参画！・「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」開催される 2~3
- 《行事予定表》 4~5
- 《賛助会員コラム》・兵庫県公衆衛生協会会長賞を受賞して・認知症医療全県フォーラム・《求人情報》 6~7

平成29年の新年を迎えて

(公・社)兵庫県臨床検査技師会

会 長 中町 祐司

新年明けましておめでとうございます。

健やかに年の初めを迎えられたことご慶賀いたします。

本年は酉年です。酉の由来は「果実が極限まで熟した状態・酒熟して気の漏れる状態」というものです。「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われてきました。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表すとされています。酉年では1945年(昭和20年)第二次世界大戦終結、1957年(昭和32年)南極越冬隊が南極大陸初上陸、1969年(昭和44年)テレビアニメ『サザエさん』放送開始、1981年(昭和56年)初のスペースシャトルミッションとしてコロンビアの打ち上げ、1993年(平成5年)皇太子徳仁親王と小和田雅子さまの結婚の儀、2005年(平成17年)中部国際空港(愛称:セントレア)の開港がありました。

臨床検査の世界ではまだまだ、成熟した年とはいえそうにありません。12年後に成熟した年になるようにできることからChallengeする年ではないでしょうか。

ご存知のように、2025年には、4人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来すると予想されています。このような少子高齢化の中で医師不足、病院や診療所中心の医療から在宅中心の医療、病院の機能分化の加速、認知症の増加など疾病の変化が考えられています。臨床検査技師の仕事も多岐にわたることが容易に考えられます。臨床検査技師も時代にそって変わっていかなければなりません。一人ひとりが患者さんにとってよりよい医療を提供するにはどうすればよいかを考え行動し、積極的に新たな仕事にChallengeしなければなりません。

去年は神戸国際会議場を中心として日本医学検査学会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査教育学会とIFBLS(世界臨床検査学会)が同時開催され約1万人の方が学会に参加されました。兵庫県臨床検査技師会は皆様のご協力のもと日本医学検査学会を担当しメインテーマは「Challenge」サブテーマは「伝統の継続と未来への進化」とし日本臨床検査医学会(学会長 兵庫医科大学 小柴賢洋教授)とは多くのシンポジウムなどの共催を企画し、臨床検査技師の病態の理解を深めました。また、学会にご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

検査説明、病棟検査技師、新規診断法への対応や開発など今後の臨床検査の進む方向を考えた時、より深い病態の理解は必須です。なお1月14日の新春セミナーでは6人の医師の先生にご講演をお願いしていますのでご参加のほどよろしく願いいたします。

最後になりましたが、県をはじめ行政機関、関係団体、賛助会員の方々には旧年中、お世話

になり大変感謝いたしています。本年も「臨床検査を通して県民に良質な医療を提供する」をモットーに活動いたしますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、会員の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。また、今年はみんなで新たな臨床検査の道を切り開く年になることを祈念いたしています。

“看護フェア”に参画！ (11月12日)

増井 裕 (川崎病院)

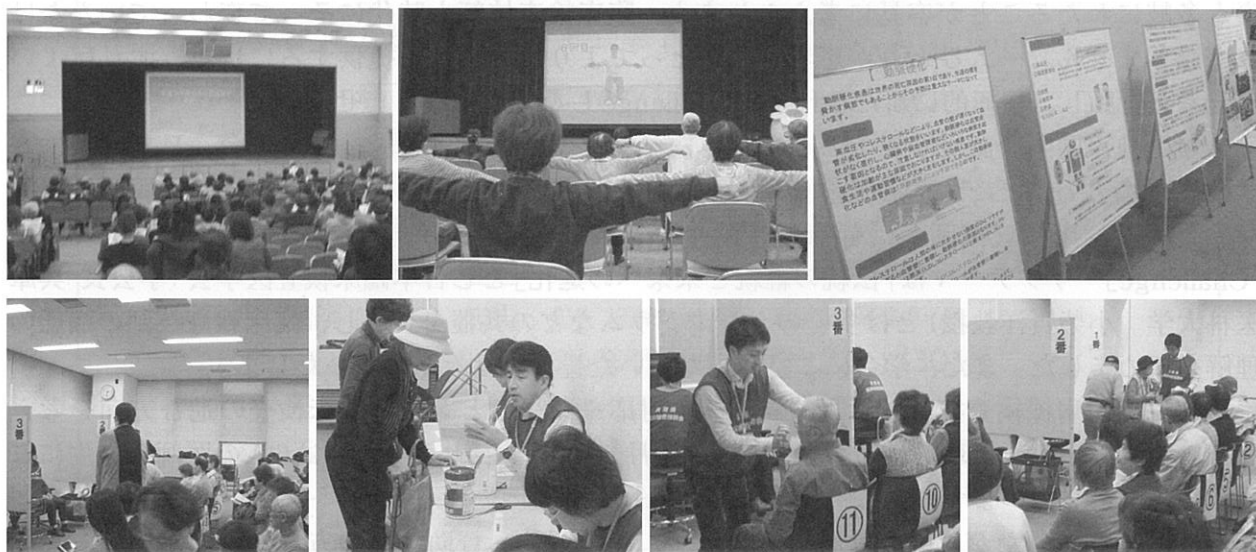
看護フェア 2017 11月12日 10:00~15:30 無料 脳活 1日まわりの健康 映画上映 10:20~11:40 徘徊 ママリン67歳の夏 会場 兵庫県看護協会

平成28年11月12日午前10時より兵庫県看護協会にて看護フェアが行われ、兵臨技も参画しました。

今回のテーマは「脳活」でした。会場では脳活のためのいきいき百歳体操も行われていました。兵臨技では動脈硬化のパネル展示を10時、頸動脈超音波測定(以下：超音波)を11時40分開始予定でしたが、10時の時点で「超音波はまだですか」と尋ねてこられる方が複数いらっしゃいました。開始時間をご案内した上でやむを得ず会場の扉を閉めて準備することとなりました。待っていただく為の椅子も30人分用意しましたが、長い行列が出来、超音波装置3台で対応したものの、座れない方々で更に行列が出来るほどでした。超音波を受ける方の年齢層は広く、特に70歳代女性が半数以上を占めていたのが特徴的でした。合計289名の方が体験されました。

参加者にこのイベントで超音波を体験したことがあるかを尋ねたところ289名中178名、61%(前回55%)が体験者でした。兵臨技では「看護の日」・「看護フェア」と年2回イベントに参加していますが、毎回参加されて経過を診ている方もおられるようです。事実上、超音波が定着したと考えられます。15時前には残り30人の整理券を配る程の大盛況で予定より早く受付を終了しました。

今回の看護フェアには看護協会、臨床検査技師会、放射線技師会、栄養士会、理学療法士会、歯科衛生士会、言語聴覚士会が参画しました。これからも今まで以上に臨床検査技師会という殻にこもらずコメディカルとして連携して医療に貢献していかなければならないと感じました。



平成28年度日臨技・兵臨技主催 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」開催される

平成28年12月10日(土)・11日(日)に三宮コンベンションセンターにて、日臨技・兵臨技主催の「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を開催しました。

今日の医療に臨床検査は欠かせないものですが、検査項目が拡大し、検査の技術や知識が高度化したこともあり、多忙な医師、看護師が十分な検査説明を行うことが年々難しくなっており、適切な業務分担を導入する意味でも臨床検査の専門職としての臨床検査技師に協力が求められる時代になってきました。平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知(医師及び医療関係事務職員等との間等での役割分担の推進)を受け、平成25年度において各都道府県技師会から各1名の企画担当者が選任され、「平成25年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」を受講しました。この講習を受けた



企画担当者が、平成26年度から各都道府県単位で臨床検査技師に患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術を習得させ、チーム医療等の参画および質的向上を図ることを目的とした育成講習会を開催してきました。今年度が3ヵ年開催計画の最終年度になりました。

昨年度同様、兵臨技中町会長の開会の挨拶からスタートし、日臨技の指定ビデオ講演として、宮島日臨技会長による臨床検査技師の検査説明・相談に取り組む姿勢について聴講しました。次に検査医、看護師、臨床心理士、接遇講演のプロなどの多種多方面の先生方に、二日間にわたり講演していただきました。

講習会に多くの方に参加していただき、年を追うごとに臨床検査技師の意識革命を感じました。できるところを施設に合わせて模索し、その方法や成果を情報交換することにより、検査説明への意識が全体に広がっていただけることを強く祈願いたしております。

最後になりましたが、これまで参加していただいた会員の方々、ご協力いただいたスタッフの方々に感謝申し上げます。

(文責：兵庫県担当 井垣・広報部)



賛助会員

ヨロム [57]

株式会社やよい

『生命とテクノロジーの真ん中にいます』

～お客さまと共に成長し続ける企業でありたい～

藤田 哲也（本社 総務部）

私たち株式会社やよいは昭和27年3月1日に姫路市で産声を上げました。社名は創業が3月ということにちなんで旧暦の「弥生」から名付けられました。平成29年3月にはおかげ様をもちまして65周年を迎えます。創業時は脱脂綿小分け製造を行っておりました。ロゴの「オオトリマーク」は、当時、脱脂綿の仕入れ先でトップブランドであった企業のブランドマークで、その使用を許された数少ない会社として今も継承しています。現在は医療機器販売を主力とし本社のある姫路市をはじめとする兵庫県内の医療機関へ地域密着型の事業展開を行っております。近年は、大阪府や三重県にも営業所を展開し商圈を広げています。当社は、血管内治療や人工透析、内視鏡、整形外科、超音波診断装置に特化した特販営業部門を有し、お客さまからのご要望にきめ細かに対応し、地域に根差した密度の濃い活動を通じて地域の医療の発展に貢献を続けています。

超音波診断装置部門は、新規導入や更新のご提案はもちろんのこと、販売後のサポートが特に重要と考え、保守メンテナンスや故障時の緊急対応など、お客さまの円滑な業務サポートを行うため社員教育に力を入れております。IT技術の発展により急速に成長している超音波診断装置を適切に運用するには、専門スタッフによるアフターサポートの需要は高く、私たちはメーカーとも協力し、お客様の満足を第一の目標として、よりよいサポートと役立つ情報をお届けするよう日々励んでいます。また、毎年開催している超音波セミナーは、日々の診療や検査のお役に立てるよう各分野のエキスパートの講師を招聘し、毎回100名以上のご参加を頂き、広くお客様にお喜び頂いております。

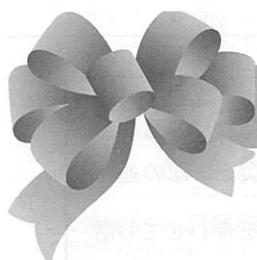
これからも、「人々の健康への願いを支え続ける」を私たちの使命と考え、医療機関のお客さまに安心と安全をお届けし、成長し続けてまいります。



物流センター



本社社屋



兵庫県公衆衛生協会会長賞を受賞して

和田 恭直（兵庫医科大学病院）

この度、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会（以下、兵臨技）のご推薦により、平成28年度の兵庫県公衆衛生協会会長表彰を賜ることになり、先日、兵庫県医師会館において表彰式に出席し、栄えある賞を拝受いたしました。1980年に就職し兵臨技に入会して以来、認定臨床微生物検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師、病原体等取扱い主任管理者を取得して、今日までのほとんどの期間を微生物検査業務に従事してまいりました。その間に我々の衛生環境が大きく変わると共に、微生物も新興感染症、再興感染症および薬剤耐性菌の問題が病院内だけでなく、市中においても大きく取り上げられるようになって来ています。そして表彰式当日のご講演でもお話しがあったように、今年のG7伊勢志摩サミットにおいても、薬剤耐性菌について国際協力を推進することがコミットされ、それに先駆けて政府は4月5日に薬剤耐性対策アクションプラン2016～2020年を発表しました。このような時代の趨勢の中で消毒、滅菌、感染予防などの感染制御を実践している臨床検査技師の存在がさらに重要になると考えられ、今後も今回の受賞を心に刻んで、恥じないように頑張るべく努めていく所存です。

最後に、今日までご教授、ご指導をしていただいた諸先生方、諸先輩方および共に勤めた職場の方々に深謝するとともに、兵臨技ならびに会員の皆様方の益々のご発展、ご活躍をお祈り申し上げます。



認知症医療全県フォーラム 「待ったなしの認知症対策」

日 時：平成29年2月19日（日） 14：00～16：30

会 場：兵庫県医師会館 2階大会議室

内 容：○基調講演 「認知症の早期発見と予防」

古和 久朋 先生（神戸大学医学部神経内科准教授）

○パネルディスカッション 「各地域の認知症の取り組みについて」

コメンテーター：認知症の人と家族の会 古和 久朋 先生（神戸大学医学部神経内科准教授）

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●医療法人社団六心会 恒生病院

交 通：神戸電鉄「道場南口」下車 徒歩5分 業務内容：検査業務全般（特に超音波検査可能な方又は意欲のある方歓迎）

採用条件：正社員（パートも可）

土曜日交代勤務

連 絡 先：078-950-2622 内線211（総務 藤川）

■ 平成28年度 第2回西播地区研修会のお知らせ ■

平素は、西播地区活動にご協力頂き誠に有り難うございます。第2回西播地区研修会を下記の通り開催致します。

今回は、兵庫県臨床検査技師会役員に西播地区へ足を運んで頂き、実際に会員と顔を合わせてお話し頂ける機会を準備致しました。実臨床で即役に立つ内容をお願いしております。

前回に続き、今期の参加者・施設によるアンケートの結果をもって、来年度より更に西播地区の要望に沿える形で開催する予定にしております。

ご多忙とは存じておりますが、ご参加いただきますようお願い致します。

記

1. 日 時：平成29年2月5日(日) 9:30～12:30 (9:15～受付開始)
2. 場 所：太子町あすかホール 2F 研修室 TEL: 079-277-2300 (代表)
〒671-1561 兵庫県揖保郡太子町鰯1310-1
(www.town.hyogo-taishi.lg.jp/soshikikarasagasu/bunnkakaikan/)
3. 内 容：9:30～10:20 司会：島田 一彦 (兵庫県臨床検査研究所)
「糖尿病にかかわる技師が知るべき内容と伝えるべき内容
～病棟検査技師を経験した糖尿病療養指導士からのメッセージ～」
藤井 誠治 先生 (兵庫県臨床検査技師会 組織部長)
- 10:25～11:15 司会：喜多 博文 (製鉄記念広島病院)
「腹部超音波検査に携わる技師に ～一度は見ていて欲しい貴重な症例～」
綿貫 裕 先生 (兵庫県臨床検査技師会 学術部長)
- 11:20～12:10 司会：桑島 恭二 (姫路循環器病センター)
「これからの時代に臨床に必要とされる検査技師とは」
中町 祐司 先生 (兵庫県臨床検査技師会 会長)
- 12:10～12:30 質疑応答・意見交換
4. 参加費：会員：500円、非会員：1,000円 (点数：基礎20点)

※会員の方は生涯教育の登録のため、会員証をお持ち下さい。

第8回摂食嚥下障害研修会

日 時：平成29年2月4日(土) 14:00～17:00

場 所：兵庫県医師会館 2階大会議室

メインテーマ：「専門職から学ぼう！ 摂食嚥下障害者への対応とリハビリ」

内 容：「摂食・嚥下とポジショニング」(45分)

座長：梶家 慎吾 先生 (兵庫県理学療法士会総務部員)

講師：中西 智也 先生 (兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷 企画調整部地域ケア課理学療法士主査)

「摂食・嚥下障害の栄養管理 ～食を通して～」(45分)

座長：下浦 佳之 先生 (兵庫県栄養士会副会長)

講師：芝山 伸男 先生 (近畿中央病院 栄養管理室副室長)

「高齢者施設での口腔機能管理 ～食支援介入～」(30分)

座長：岩崎小百合 先生 (兵庫県歯科衛生士会副会長)

講師：泉本 美穂 先生 (社会福祉法人六甲岩岡の郷診療所歯科)